

セミナー企画書

山田真由子/山田真由子社会保険労務士事務所 代表

(電話) 090-8446-5514

(メール)officeyamada@nifty.com

【タイトル】

2025 年法改正に備える熱中症対策と睡眠管理

～“環境”と“コンディション”の両面から事故を防ぐ実務～

【参加者対象】

- 経営層・管理職・監督職
- 現場リーダー・職長
- 安全衛生・人事労務担当者
- 製造業・建設業・物流など、暑熱環境での作業を伴う企業

【参加者が得られるメリット】

- ▶ 2025 年 6 月の労働安全衛生規則改正の要点が整理できます。
- ▶ 現場で再現できる熱中症予防策（環境管理・作業管理・体調確認）が明確になります。
- ▶ WBGT 値の読み方と運用の実務が理解できます。
- ▶ 睡眠不足・疲労が事故リスクを高める仕組みが分かり、声かけ・確認手順が身につきます。
- ▶ 重大事故につながる初期サインを見抜く視点が得られます。
- ▶ 「法対応 × 現場運用」を両立した安全マネジメントを構築できます。

【コンセプト・概要】

2025 年 6 月施行の法改正により、熱中症対策はすべての事業者に義務化されます。

熱中症は高温環境だけでなく、睡眠不足・疲労・体調不良の見落としなど複数の要因が重なって発生します。

本セミナーでは、① 法改正の要点、② 現場でできる暑熱対策、③ WBGT 運用、④ 眠気・疲労の見立て、⑤ 事故につながる兆候の見抜き方を実務に沿って体系的に整理します。

目的は、“作業環境”と“従業員のコンディション”の両面からリスクを防げる職場づくりを実現することです。

【内容】

（１）2025 年法改正のポイント

- ▶ 熱中症対策として事業者には義務づけられる項目
- ▶ 現場で必要となる「体制・記録・教育」
- ▶ 違反時のリスクと注意点

（２）現場で実行する熱中症予防

- ▶ WBGT（暑さ指数）の見方・基準
- ▶ 水分・塩分補給、休憩、作業強度管理
- ▶ 作業服・空調服・送風・遮光の活用
- ▶ よくあるヒヤリハットと初期サイン
- ▶ 【演習】危険兆候の洗い出し

（３）睡眠と事故リスク

- ▶ 睡眠不足が判断・集中に与える影響
- ▶ 早出・交代勤務に潜む「睡眠負債」
- ▶ 現場での体調確認ポイント
- ▶ 【セルフチェック】睡眠状態の振り返り

（４）現場マネジメントの実務

- ▶ 毎日のコンディション確認の手順（観察→質問→判断→記録）
- ▶ 記録・エスカレーションの判断基準（作業中断レベル／要相談レベル）
- ▶ 「無理させない」ための配置・作業強度・時間帯の調整
- ▶ 事故を防ぐ声かけと兆候の観察（動き・表情・反応）

（５）アクションプラン

- ▶ 明日からやるべきこと

所要時間：90 分～120 分程度（ご要望時間にあわせカスタマイズ可能）

参加特典：当日のセミナー資料（PDF 版）を希望者に進呈